

《Q.12》地域の教育環境の改善

地域の教育環境の改善はどのように進めたらよいですか。

今日、いじめや不登校の問題、あるいは学校外での社会体験の不足など、豊かな人間形成を育む時期の教育に様々な課題が生じています。こうした課題に適切に対応していくうえで、学校内だけでなく、家庭及び地域の教育機能を高め、相互の連携を強めていくことが求められています。

1 校外生活指導と地域の教育環境の改善に向けて

P T Aは、学校と地域をつなぐ団体として、学校の教育目標、指導方針に基づき校外の生活指導に協力したり、P T A自体としても、子どもたちが健全な遊びや規律ある集団活動などをとおして、心身共に健全な発達を促すよう、適切な指導を行ったりしていくことが大切です。

加えて、子どもたちが生活する地域の環境を、教育的な視点から改善すると共に、子どもたちの校外における生活の安全を確保する役割が期待されています。

活動を効果的に進めるために、会員相互の話し合いや組織的な学習や実践が必要であり、さらに、P T A相互間、あるいは地域の諸団体等との連携など、取組を進めていくことが大切です。

2 地区懇談会

地区懇談会は地区の集会所等においてP T Aが主催する集会です。地域や学校における子どもたちの生活について話し合います。保護者が学校の現状や課題を把握し、学校に協力した活動をするためにも必要です。

また、会員同士で討議を行い、家庭や地域で実践していく活動を考える重要な集会です。多くの会員に参加してもらえるように開催日を検討したり、地域で起きている具体的な問題点を提起したり、身近な目標を立てたりして充実した話し合いがもてるように懇談会を工夫しましょう。

《 知っていますか 》

— 家庭・地域の教育力を高めるために —

子どもたちに関わる教育諸課題の解決については、これまで様々な論議や取組がなされてきました。その中で常にいわれてきたことは、子どもの教育をすべて学校に任せるのではなく、家庭や地域社会の教育力をより高めて教育に取り組まなければ、子どもたちの課題は解決しないということです。

家庭は心の安らぎや温もりを感じる場であり、健全な人格形成に必要なものです。保護者が毎日表情豊かに、生き生きと生活をしていくことがなによりも大切です。そのためには、家庭の中でのコミュニケーションをはかることが重要です。大人が自分の考え方や生き方を自然に伝えましょう。

また、家庭の枠に閉じこもらずに地域社会の人々との関係を大切にし、社会とのつながりを通じて、家族の団結や他者への思いやりを教えていきましょう。

神奈川県では、相談機関一覧カードの配付により、悩みを抱える子どもたちや育児不安で悩む保護者に対しての昼間・夜間の電話相談、家庭教育の要点を示した家庭教育ハンドブック「すこやか」やお手伝いを通してしつけについて考える「おてつだい帳」の配付、インターネットによる子育て応援サイトにおける情報提供、保護者を対象としたテレビ番組「すこやかファミリー」の放映などを行い、家庭教育を支援しています。

家庭・地域教育力を高めるという視点でP T A活動を見ると、家庭教育の充実をテーマとして、成人教育委員会などが主催する「家庭教育学級」をはじめとした研修会の意義が大変大きく、保護者として子育てを考える大切な機会とすることができます。また、家庭や学校とは違った視点で子どもを見つめ、違った評価をしてくれる地域社会の協力も、子どもの成長にとっては大変重要です。

保護者に対する啓発や学習と共に、子どもを見守る地域社会との連携・協力を進める面からも、P T A各委員会の取組に対して、これまでも増して期待が寄せられています。